

伊賀市多文化共生推進プラン事業計画

第1期(2023-2026)

【2024(令和6)年度】

事業進捗状況調書

■施策の展開■

<p>1. だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-A-(1) 災害時・緊急時における協働体制の確立 1-A-(2) 外国人住民の高齢化への対応 1-A-(3) 地域における生活支援の充実 1-A-(4) 生活困窮等対策の充実 1-B-(1) さまざまな相談に対する支援の充実 1-C-(1) 就労と居住に関する支援の充実 1-C-(2) 外国人差別への対応 	<p>2. 教育・子育てしやすい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-A-(1) 子育て情報の充実 2-A-(2) 子ども・若者の居場所づくり 2-B-(1) 児童生徒一人ひとりに合った教育の推進 2-B-(2) 子育て支援に関する相談の充実 2-C-(1) 日本語指導、進学指導の充実 2-C-(2) 就学に関する情報提供の充実
<p>3. 国籍を越えた交流による地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 3-A-(1) 「やさしい日本語」の普及 3-B-(1) 文化・スポーツ交流の促進 3-C-(1) 学習・文化活動に参加できる環境づくり 3-C-(2) 外国人住民との連携・協働 	<p>4. 外国人住民も活躍する地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 4-A-(1) 日本語学習機会の拡充 4-A-(2) 双方向による情報受発信 4-A-(3) 外国人への偏見・差別の解消 4-B-(1) 住民の声を聴くための機会づくり 4-C-(1) まちづくり、地域づくりへの参画 4-C-(2) 外国人住民の人材育成と支援者の人材育成 4-C-(3) 外国人起業家などへの支援

「施策の取組の方向」は、

- 「A」早急に取り組むべきもの
- 「B」すぐに取り組めるもの
- 「C」じっくり取り組むものと分類し表記しています。

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画												
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)								
1 だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり																	
1-A-(1) 災害時・緊急時における協働体制の確立	① 平時からの情報の充実	◆多言語と「やさしい日本語」によるさまざまなツールを通じた情報提供	防災危機対策局	国際交流フェスタにおける防災啓発及び伊賀市防災・情報アプリ等での情報発信（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握	市の発信事業	-										
			秘書広報課	引き続き、多言語及びやさしい日本語での発信ができるよう運用します。	b：取組実績把握												
			地域連携部 各支所	（上野支所）今後、英語以外の言語での表示を検討します。行政機関への届出等の相談で来庁されることがあり、日本語が通じない場合は4階の多文化共生センターと連携し案内を行います。 （阿山支所）施設内の案内表示を多言語に対応した解りやすいものにします。	b：取組実績把握												
			多文化共生課	イベントなどの機会に防災啓発を行うとともに、多言語情報紙及び多文化共生センターfacebook等を活用した生活情報を提供します。（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握												
			伊賀の伝丸	SNSを活用した多言語ややさしい日本語での情報発信	c：その他												
			◆企業等における情報入手手段等の周知	エクセディ	避難訓練や安否確認メール訓練の実施												
			② 情報を「つなぐ」機能と体制の構築	◆既存のネットワークや企業、地域等の「まとめ役」を通じた情報伝達のしくみづくり	医療福祉政策課						地域生活課題について地域住民主体で解決に向けて協議を行う地域福祉ネットワーク会議を中心に、災害時においても情報が地域内で共有できるしくみを検討します。	b：取組実績把握					
					エクセディ						・緊急連絡先の把握 ・通訳を介した情報発信						
					同和課						各隣保館等総合相談事業での外国にルーツのある方等の施設等利用・総合相談件数調査を行います。	b：取組実績把握					
					多文化共生課						外国人住民アンケート調査の継続実施、また、平時の相談業務からニーズ・困りごとなどの把握に努めます。	b：取組実績把握					
					伊賀の伝丸						平時の相談業務からニーズ・困りごとなどの把握、伴走支援中家庭へのアウトリーチによる現状把握	c：その他					

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	2024年度 各主体の取組提案					
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)		
	③ 地域参加を通じた日頃からの関係づくり	◆自治会及び自主防災活動への参加促進（「自治」への理解を深める） ◆日常的な交流から防災訓練等に参加をつなげるしくみづくり ◆外国人防災リーダーの養成	◆自治会及び自主防災活動への参加促進（「自治」への理解を深める）	防災危機対策局	防災知識の普及、訓練を実施する際、多様なニーズに十分配慮し、参加しやすい環境整備（防災講話等）	a：数値把握	防災講話等の開催回数	68回			
			◆日常的な交流から防災訓練等に参加をつなげるしくみづくり								
			◆外国人防災リーダーの養成	多文化共生課	外国人防災リーダーを育成します。（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修	受講者累計35人			
				医療福祉政策課	災害時に自分の身を守り、防災啓発を行うリーダーを養成するために、引き続き外国人防災リーダーの養成に努めます。	a：数値把握	外国人防災リーダー研修	15人			
				伊賀の伝丸	養成講座へノウハウの提供や事業協力	c：その他					
				社会福祉協議会	（再掲）外国人防災リーダーの育成事業（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修受講者数	受講者累計45人			
			④ 防災知識の普及	◆防災教室・防火救命講習の開催 ◆地域、企業等における防災教室・防災訓練の実施	◆防災教室・防火救命講習の開催	消防本部（管理課）	災害時に自分の身を守り、防災啓発活動を行う外国人防災リーダーを養成します。	a：数値把握	防火・救命講習を開催する	1回以上	
						国際交流協会	国際交流フェスタやひゅーまんフェスタ等を通じ、防災意識の普及を図ります。やさしい日本語を使った外国人対応の研修会を実施します。				
						社会福祉協議会	外国人防災リーダーの育成事業（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修受講者数	受講者累計45人	
						エクセディ	避難訓練や消火訓練の実施				
				社会福祉協議会	伊賀市災害ボランティアセンター設置訓練〈災害VC〉	a：数値把握	災害ボランティアセンター設置（運営）訓練への外国人防災リーダー参加者数	参加者10人			
	1-A-(2) 外国人住民の高齢化への対応	① 情報発信の充実	◆多言語と「やさしい日本語」による福祉情報の充実	◆多言語と「やさしい日本語」による福祉情報の充実	障がい福祉課	障害福祉サービスから介護サービス移行対象者への情報提供（やさしい日本語・多言語）をします。	b：取組実績把握				
					介護高齢福祉課	外国人被保険者へ通知を送付する際、やさしい日本語を使用しルビを入れたものを同封します。介護保険料の払い忘れなど早期対応が必要なものについては、上記に加え、ポルトガル語・スペイン語・中国語対応の翻訳文を同封します。	c：その他	通知割合	100%		
					地域包括支援センター	必要に応じて通訳者を介し、サービスや制度の説明を行います。	d：把握困難	—	—		

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)	
				保険年金課	窓口において、多言語のパンフレットを用い、保険制度や医療助成制度の情報の発信を行います。また、各種通知の際には、翻訳またはやさしい日本語で文書を作成し、制度や手続きに関する情報を提供します。	b：取組実績把握				
			◆外国人向けライフステージ・ライフサイクルに応じたセミナーの開催	エクセディ	ライフサポートセミナーの開催（50歳以上の従業員で希望者）					
			◆社会福祉法人等との連携強化							
		② 相談体制の充実	◆通訳兼相談員の拡充	多文化共生課	多文化共生相談員を継続雇用します。	b：取組実績把握				
			◆窓口等における対応力の向上（「やさしい日本語」の習得やケースの共有など）	多文化共生課	窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値把握	研修会の実施	1回		
				社会福祉協議会	ポケットークの活用や優しい日本語による可能な限りわかりやすい対応を実施します。	b：取組実績把握				
			◆関係機関における情報・課題共有の場づくり							
		③ 福祉人材の育成	◆外国人の福祉人材の育成	医療福祉政策課	福祉教育プログラムに基づいた取り組みについてさらなる推進を図り、福祉人材の養成に努めます。	b：取組実績把握				
				介護高齢福祉課	外国人の会計年度職員を雇用し、雇用期間中に制度の内容を習得することで、初期対応の時点で趣旨を捉え、スムーズに対応できるようにします。	b：取組実績把握				
				伊賀の伝丸	外国人福祉人材対象の日本語講座の提供	c：その他				
			◆外国人材の採用促進							
		1-A-(3) 地域における生活支援の充実	① 生活オリエンテーションの充実	◆生活オリエンテーションやセミナーの実施	多文化共生課	転入外国人に対する生活オリエンテーションを実施します。	b：取組実績把握			
					伊賀の伝丸	多言語生活相談	c：その他			
					国際交流協会	多文化共生センター窓口の補完事業として軽微な相談活動及び関係機関等への取次				

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)	
				社会福祉協議会	日常生活の相談活動〈市社協〉 日常生活の相談活動〈民児連〉	b：取組 実績把握				
			◆生活ガイドブックの発行	多文化共生課	身近な人が外国人住民とコミュニケーションを図りながら基本的な生活について説明できるよう伊賀市版多言語生活ガイドブックを広く周知します。	b：取組 実績把握				
			② 地域における良好な関係づくり	◆地域等における「まとめ役」となる人材の育成	多文化共生課	地域等の研修会や出前講座を実施し、多文化共生に関する理解を深めます。	b：取組 実績把握			
	1-A-(4) 生活困窮等対策の充実	① 生活困窮等の対策の充実	◆生活困窮等にかかる相談窓口の周知	生活支援課	生活困窮者の就労先啓発のため企業訪問を行った際に、外国人の相談窓口についても啓発を行います。	b：取組 実績把握			-	
				伊賀の伝丸	当団体含め、市や社会福祉協議会など相談先の紹介	c：その他				
				社会福祉協議会	多言語版おあいこのパンフレットの配布、周知を図る。	b：取組 実績把握				
				多文化共生課	(再掲) 窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値 把握	(再掲) 研修会の実施	1回		
				国際交流協会	「やさしい日本語」習得のための研修会への参加。					
	1-B-(1) さまざまな相談に対する支援の充実	① 福祉・生活ニーズの把握	-	多文化共生課	(再掲) 外国人住民アンケート調査の継続実施、また、平時の相談業務からニーズ・困りごとの把握をします。	b：取組 実績把握				
				医療福祉政策課	福祉ニーズを把握するために、毎年地域を決めて地域福祉ネットワーク会議単位でアンケートを実施しております。また、地域福祉コーディネーターが地域支援の一環で把握している地域アセスメントについても引き続き把握を行います。	b：取組 実績把握				
障がい福祉課				窓口対応等の支援（やさしい日本語・多言語）をします。	b：取組 実績把握					
生活支援課				経済的困窮だけにとどまらず、ひきこもりなど社会的孤立など幅広い相談に対応します。外国人が抱える問題に寄り添いながら関係機関と連携し自立に向けた支援を提供します。	a：数値 把握	外国人からの新規相談 件数	60件			
介護高齢福祉課				今後、外国人相談者がますます増加することを見込み、多文化共生課や地域包括支援センターと連携・情報共有しながら、効果的な制度の周知方法を検討します。	a：数値 把握	研修やセミナーへの参加・共有回数	1回			

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)	
				保険年金課	窓口で医療保険や国民年金の相談を通じて、生活に支援が必要かどうかのニーズの把握に務めます。	b：取組実績把握				
				健康推進課	予防接種予診票の翻訳等をすすめてきているところです。要望接種の案内文等対応できていない文書の翻訳をすすめていきます。	b：取組実績把握				
				こども家庭支援課	母子健康手帳の外国語版の交付、予防接種予診票の翻訳等をすすめてきているところですが、各種案内文等対応できていない文書の翻訳をすすめていきます。	b：取組実績把握				
		② 相談・支援窓口における対応力の向上	-	多文化共生課	相談員対象の研修を実施します。	a：数値把握	相談員研修の実施	1回		
				医療福祉政策課	高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野にかかる相談支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業について、引き続き取り組みの推進を図ります。	b：取組実績把握				
				医療福祉政策課	「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」について契約どおり多言語対応がスムーズにできているか検証を行い、問題がある場合は業者と協議し改善を求めます。また、事業啓発も外国人のほか日本人へも様々なツールにより行います。また、他の外国語対応も検討します。	b：取組実績把握				
				障がい福祉課	窓口で使用する申請書類の支援及び各種お知らせ等の情報提供（やさしい日本語・多言語）をします。	b：取組実績把握				
				生活支援課	生活保護、生活困窮者自立支援の相談支援において多文化共生課の通訳の協力を得て、面談時の通訳や文書の翻訳をなどわかりやす説明を行います。	c：その他		-		
				介護高齢福祉課	今後、外国人相談者がますます増加することを見込み、職員の「やさしい日本語」の習得や、対応をスムーズに行う手段（翻訳機器等）として、窓口で翻訳機能付きの字幕表示ディスプレイの設置を進めます。外国人支援に関する研修やセミナー等積極的に参加し、課内で情報共有し、可能なことは順次実践していきます。	b：取組実績把握				
				保険年金課	ポルトガル語の通訳員を雇用します。対応できない言語の場合は、翻訳タブレットを活用します。	b：取組実績把握				
				健康推進課 こども家庭支援課	訪問や相談対応時に通訳者の依頼や翻訳機等を利用して、相談や支援をします。	b：取組実績把握				
				多文化共生課	就労に関する情報発信など、関連機関と連携し就労機会を確保します。	b：取組実績把握				
1-C-(1) 就労と居住に関する支援の充実	① 就労支援の充実	-	多文化共生課	就労に関する情報発信など、関連機関と連携し就労機会を確保します。	b：取組実績把握					

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画				
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
				商工労働課	多文化共生センターや通訳兼相談員などと連携しながら就労相談などを行います。 また、人権啓発企業訪問の際に外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促します。	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	住居に関する情報発信など、住宅課と連携して行います。	b：取組 実績把握			
				住宅課	賃貸住宅相談会の開催及び外国語通訳者の配置 安心住まい情報等の多言語版情報誌の設置 市営住宅募集にかかる多言語版の案内及び通訳者の確保	b：取組 実績把握			
	1-C-(2) 外国人差別への 対応	① 外国人差別に対する 相談と救済の実施	-	人権政策課	人権相談窓口における外国人差別に対する相談と救済を実施します。	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	外国人差別に対する相談について、問題解決と当事者の救済に人権政策課と連携し取り組みます。	b：取組 実績把握			

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)				
						タイプ※	指標名	見込値(2024)	実績値(2024)	
2 教育・子育てしやすい地域づくり										
2-A-(1) 子育て情報の充実	① 情報発信の充実	◆多様なツールを活かした情報発信	◆子育てセミナー・交流会の開催	多文化共生課	多言語情報紙及び多文化共生センターfacebook等を活用した子育て情報を提供します。（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握				
				こども未来課 子育て支援室	子育て支援に関する市の施策を一冊にまとめた「伊賀流未来応援の術」をもって、市民に対し分かりやすい情報提供を行います。また毎月開催される子育て支援センターの事業を市広報、ホームページ、通信等で情報提供します。					
				家庭支援課	子育て事業等、翻訳機やSNS等を利用して案内や子育て情報を提供します。					
				保育幼稚園課	・窓口（2か国語）通訳の配置します。 ・公立2園には主にポルトガル語通訳が可能な保育補助の配置します。 ・通訳者の不在時、または通訳者が対応出来ない言語の場合は、タブレット端末（ポケトーク）を利用した多言語通訳システムにより対応します。	b：取組実績把握				
				学校教育課	児童生徒や保護者が学校生活等に関する連絡や相談等について、母語で意思疎通できるように電話通訳等による対応を行います。また、県の外国人児童生徒巡回相談員やNPO法人を活用します。	d：把握困難				
				医療福祉政策課	高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野にかかる地域づくり支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業について、引き続き取り組みの推進を図ります。					
				こども未来課	子育てに役立つ話、親子ふれあい遊び等を開催し、親子の交流を深め、共育の社会をすすめます。					
				子育て支援室	ファミリースマイルアップ講座の開催（男女共同参画センター、文化都市協会、子育て支援室主催）					

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値(2024)	実績値 (2024)
		② 相談体制の充実	◆通訳兼相談員の拡充	こども家庭支援課 子育て支援室	妊娠期～子育て期における教室や相談事業(妊婦教室・乳幼児相談・離乳食教室等)にて、通訳者の依頼や翻訳機などを利用して、相談や支援をします。お話の会、公開講座の開催（子育て包括支援センター）	b：取組 実績把握			
				社会福祉協議会	外国人住民交流支援事業（国際交流フェスタの会場内にて缶バッジを販売し、伊賀市内の福祉活動を啓発）	a：数値 把握	社協ブース来場者数	100	
			多文化共生課	（再掲）多文化共生相談員を継続雇用します。	b：取組 実績把握				
			多文化共生課	（再掲）窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値 把握	研修会の実施	1回		
			伊賀の伝丸	伴走支援中家庭へのアウトリーチによる現状把握	c：その 他				
	2-A-(2) 子ども・若者の居場所づくり	① 子ども・若者の居場所づくり	◆地域における子ども・若者の居場所づくりに関する取組の推進	こども未来課	B&G財団の助成金を原資として、子どもの居場所づくりを行う団体への補助を行います。	b：取組 実績把握			
				生涯学習課	小学生を対象として、放課後や長期休暇中の活動拠点（居場所）を提供します。	a：数値 把握	放課後子ども教室開設数	5か所	
				社会福祉協議会	・地域食堂連絡会を基点にした伊賀市内の地域食堂（こども食堂）の推進 ・あらゆる世代が集える居場所づくりの支援（コミュニティカフェ、10代カフェ）	b：取組 実績把握	新規の居場所立ち上げ数	3	
				国際交流協会	イベント等を通じ、日本のあそびや伝統文化などの紹介をする。	b：取組 実績把握			
			伊賀の伝丸	若者支援（悩み相談、受診支援、就職支援） 学習支援教室ささゆりの運営実施（受託）	c：その 他				
2-B-(1) 児童生徒一人ひとりに合った教育の推進	① 「特別の教育課程」による指導の推進	－	学校教育課	外国人児童生徒が日本語で学校生活を営み、学習に取り組むことができるよう、市内小中学校に在籍するすべての日本語指導が必要な外国人児童生徒に「特別の教育課程」を編成し、日本語指導を行います。	a：数値 把握	「特別の教育課程」を編成し、日本語教育に取り組む学校	100%		
			伊賀の伝丸	つたまる新渡日児童生徒 個別学習支援	c：その 他				

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)									
						タイプ※	指標名	見込値(2024)	実績値(2024)						
3 国籍を越えた交流による地域づくり															
3-A-(1) 「やさしい日本語」の普及	① 「やさしい日本語」の普及	◆行政職員向け「やさしい日本語」の研修実施・普及		人事課	多文化共生課が行う職員向け研修について、職員が積極的に受講できるよう受講環境の整備について検討するほか、新採研修に多文化共生に関する研修を取り入れるなど、各所属における業務、研修がある中でどのような形での実施方法が適当か引き続き検討していきます。	a：数値把握	研修会の実施	1回							
				多文化共生課	職員向け「やさしい日本語」研修会を行います。	a：数値把握	研修会の実施	1回							
				伊賀の伝丸	やさしい日本語講座への講師派遣	a：数値把握	講座参加者合計数	500人							
				多文化共生課	やさしい日本語講座の実施、講師派遣	a：数値把握	研修受講者数	40人							
		◆地域や企業等での「やさしい日本語」に関する取組の推進・普及				社会福祉協議会	外国人防災リーダー育成事業「やさしい日本語」の普及（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用	a：数値把握	やさしい日本語講座参加者数	25人					
						伊賀の伝丸	（再掲）やさしい日本語講座の実施、講師派遣	c：その他							
						国際交流協会	やさしい日本語研修会（中級編）の実施。自治協議会等へのやさしい日本語研修会への講師派遣。	b：取組実績把握							
						中外医業	外国人の方だけではなく、障がい者の方にも「やさしい日本語」の取組を進めていく。								
						3-B-(1) 文化・スポーツ交流の促進	① 多文化交流機会の充実	-		上野図書館	多言語で外国語表記のある絵本等の読み聞かせを行います。	a：数値把握	多言語おはなし会の開催数	2回	
										多文化共生課	多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実します。	a：数値把握	多文化共生理解イベントの実施	3回	
	② 市民、地域が主体となった交流の促進	-		文化振興課	芭蕉翁生誕380年記念事業の一環として「学習まんが 芭蕉さん」を多言語で閲覧できるデジタル版で作成します。	b：取組実績把握									
				多文化共生課	出前講座などによる、多文化理解の啓発を行います。	a：数値把握	出前講座の実施	2回							
				エクセディ	各種イベントの斡旋（伊賀FCくノ一三重のホーム試合観戦など）										

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2024(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
	3-C-(1) 学習・文化活動 に参加できる環 境づくり	① 生涯学習・文化 施設等における多言 語対応の推進	-	上野図書館	外国語表記のある絵本を充実することで、外国につながりのある子どもたちや市民に供し、異文化理解につながります。	a：数値 把握	外国語の絵本の購入冊数	20冊	
				生涯学習課	生涯学習事業資料を簡単な言葉で作成するなど、わかりやすく提供するよう努めます。	d：把握 困難			
	3-C-(2) 外国人住民との 連携・協働	① 住民同士の連 携・協働の促進	-	医療福祉政策	地域住民と外国人住民が交流する事業等について、地域福祉ネットワーク会議を中心にそれぞれの地域で検討していくように努めます。	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	外国人防災リーダーなどを活用し地域との交流の機会を促進します。	b：取組 実績把握			

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2026(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
4 外国人住民も活躍する地域づくり									
4-A-(1) 日本語学習機会の拡充	① 日本語学習の機会づくり	◆地域や企業における交流機会を活かした日本語学習の機会づくり	多文化共生課	地域や企業について日本語学習の実態把握を行います。また、地域の日本語教育コーディネーターなどを活用し日本語学習の機会づくりを検討します。	b：取組実績把握				
			生涯学習課	地域の活動に活かせるよう、担当課から情報提供をしてもらいます。	d：把握困難				
			エクセディ	技能実習生への日本語オンライン講座の開催					
	② 協働による日本語教室の開設	◆日本語教室の拡充	多文化共生課	日本語教室の取組拡充について、庁内及び関係機関と検討を行います。	b：取組実績把握				
			生涯学習課	(再掲) 地域の活動に活かせるよう、担当課から情報提供をしてもらいます。	d：把握困難				
			伊賀の伝丸	企業や介護施設への日本語講座の提供（講師派遣）	c：その他				
		◆地域、企業等における日本語教育活動コーディネート	多文化共生課	日本語教室やweb教材などを紹介し、日本語教育の活動支援を行います。	b：取組実績把握				
			商工労働課	多文化共生センターや通訳兼相談員などと連携しながら就労相談などを行います。また、人権啓発企業訪問の際に外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促します。	b：取組実績把握				
			多文化共生課	人権学習企業連絡会などを通じ、日本語教育の実情把握を行います。	b：取組実績把握				
	③ 子どもへの支援	◆長期休暇期間中における学習支援教室の開催	商工労働課	(再掲) 人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促します。	b：取組実績把握				
			生涯学習課	地域における日本語学習の実情把握に努めます。	d：把握困難				
			多文化共生課	長期休暇期間中に外国につながる子どもの学習支援育の一環としてセミナーを開催します。	a：数値把握	外国につながるある子どものためのセミナー実施	2回		

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2026(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)					
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)		
				生涯学習課	(再掲)小学生を対象として、放課後や長期休暇中の活動拠点(居場所)を提供します。	a:数値把握	放課後子ども教室開設数	5か所			
				国際交流協会	漢字学習支援教室の開催	a:数値把握	開催日数	40回/年			
			◆学習支援に携わる人材等の育成	学校教育課	(再掲)各校に日本語指導コーディネーターを派遣し、日本語指導担当者に対する指導や日本語能力測定方法等の研修などを実施するとともに、外国人児童生徒教育の担当者を対象に研修を実施します。	b:取組実績把握					
			伊賀の伝丸		ささゆり教室ボランティア先生研修の実施	a:数値把握	参加人数	15人			
				国際交流協会	ボランティアスタッフの募集と研修会の実施	a:数値把握	ボランティアスタッフの募集と研修	10人			
					◆学習ニーズやレベルに応じた日本語教育の推進	学校教育課	初めて日本の学校へ通うことになった外国人児童生徒で、日本語が全く話せない、ほとんど理解できない場合、伊賀市における外国人児童生徒教育の拠点校の1つである上野東小学校内に設置した初期適応指導教室において、集中的に日本語指導や学校への適応指導を行います。	c:その他			
			4-A-(2) 双方向による情報受発信	① 有効なツールの活用による情報の多言語発信	◆行政情報の多言語化	さくらサイクルセンター	外国語版ごみ分別アプリの利用促進	a:数値把握	ダウンロード数	500ダウンロード	
						多文化共生課	多言語情報紙の発行や庁内各課からの依頼により情報の多言語化を行います。また、多言語情報の活用について周知を行います。	a:数値把握	多言語情報誌の発行	12回	
					◆SNS等の活用	多文化共生課	多文化共生センターホームページ、フェイスブックを活用し、積極的な情報発信に努めます。	a:数値把握	フェイスブックでの発信	48回	
					◆外国語版情報紙のPRと活用	国際交流協会	外国語版情報誌の発行と配布。外国語版情報誌の配布先拡大	b:取組実績把握			
② 情報を「つなぐ」機能と体制の構築	◆外国人サポーターなどの人材発掘と活動のマッチング	多文化共生課		多文化共生相談員や各種団体等と協力し、人材発掘を行います。	b:取組実績把握						
		商工労働課		(再掲)人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人に関係する資料を社員も含めて広く閲覧できる環境下(食堂や休憩室など社員が共用しているスペースなど)に置いてもらえるよう依頼します。	b:取組実績把握						
	◆企業従業員等への情報提供の充実	多文化共生課		市内の企業等と連携し、多言語対応の情報活用について企業訪問等で啓発を行います。	b:取組実績把握						

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2026(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
				商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人に関係する資料を社員も含めて広く閲覧できる環境下（食堂や休憩室など社員が共用しているスペースなど）に置いてもらえるよう依頼します。	b：取組 実績把握			
				エクセディ	情報誌（やさしい日本語情報誌「伊賀」等）の設置、通訳の配置、 通訳による生活情報の提供と生活面の相談				
				◆企業等における「まとめ役」を通じた情報伝達のしくみづくり	商工労働課				
	4-A-(3) 外国人への偏見・差別の解消	① 啓発活動の充実	◆すべての人への意識啓発	人権政策課	人権講演会や人権問題地区別懇談会、人権パネル展における周知・啓発を行います。	a：数値 把握	周知回数	5回	
				多文化共生課	多文化共生理解事業（伊賀市国際交流フェスタなど）を関係関係団体と協力実施し、すべての人に対し意識啓発を行います。	a：数値 把握	（再掲）多文化共生理解イベントの実施	3回	
				商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人差別だけでなく、社内でのすべての差別事象の発生有無を確認するとともに、発生した場合はその概要や対処など、再発防止策も含めて聞き取りを行います。 また、外国人に関係する資料を社員も含めて広く閲覧できる環境下（食堂や休憩室など社員が共用しているスペースなど）に置いてもらえるよう依頼します。	b：取組 実績把握			
				生涯学習課	市民が人権に関する基本的な知識や考え方を習得できるように、効果的な学習機会の充実に努めます。	d：把握 困難			
				エクセディ	社内の人権方針の確実な実行 企業倫理（行動規範）への反映・周知				
				伊賀の伝丸	人権講演への講師派遣	a：数値 把握	参加者数	500人	
				スポーツ振興課	多文化共生と連携し、外国語版情報誌等にイベント情報を掲載します。外国人住民の方にも情報収集してもらいやすい環境をつくりイベントへの交流機会に繋がります。	b：取組 実績把握	情報誌等への掲載	3	
	② 交流機会の創出	◆多文化理解のための交流機会の創出							

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2026(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
				多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実します。	a : 数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回	
				生涯学習課	(再掲) 市民が人権に関する基本的な知識や考え方を習得できるように、効果的な学習機会の充実に努めます。	d : 把握困難			
				国際交流協会	国際交流フェスタ開催と実行委員会等への在住外国人の参加促進 在住外国人が日本文化に触れるイベントの開催 外国文化習慣等の紹介講座と料理教室の開催	b : 取組実績把握			
	4-B-(1) 住民の声を聴くための機会づくり	① 外国人住民からの広聴機会の確保	-	秘書広報課	お問い合わせフォームやeモニター登録者を通じて、外国籍住民からの意見を聞きます。 eモニターの属性は国籍を把握していないので、実績として人数や意見数を把握することは難しいです。多文化共生の意見は日本人からも外国人からも寄せられることが望ましく、引き続き市民からの意見募集やeモニター制度を活用していきます。	b : 取組実績把握	-	その他	
				多文化共生課	外国人住民を含む多文化共生推進プラン委員会や外国人住民アンケートを実施し、当事者の意見を聴く機会を設けます。	a : 数値把握	委員会等の開催	3回	
	4-C-(1) まちづくり、地域づくりへの参画	① 市政への参画機会の確保	-	多文化共生課	外国人住民が安心して暮らすことができるよう各種委員会等へ外国人住民の参画を進めます。	a : 数値把握	外国人住民の審議会委員数	7人	
		② 地域活動への参画促進	-						
	4-C-(2) 外国人住民の人材育成と支援者の人材育成	① 意欲ある外国人住民の発掘と育成	-	多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実させます。	a : 数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回	
		② 外国人住民を支援する人材の育成	-	多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実させます。	a : 数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回	
	4-C-(3) 外国人起業家などへの支援	① 外国人起業家への支援	-	多文化共生課	起業家支援対策において、他課と連携し多言語で支援を行います。(通訳・翻訳業務)	b : 取組実績把握			
商工労働課				地元の商工団体やゆめテクノ伊賀のインキュベーションマネージャー等と連携し、起業を検討している方に対するサポートを行います。	c : その他	起業・経営革新促進事業補助金の採択数(外国人だけでなく日本人も含めた総数)	18件		

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2026(R6)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2024)	実績値 (2024)
		② イベント等への 支援	-	上野商工会議所	確定申告、国・県・市の支援金、給付金、補助金等についての説明指導〈上野商工会議所〉	d：把握 困難			
				スポーツ振興課	職員が「やさしい日本語」の研修会に参加し、少しでも多くのイベント開催時に誰も見やすい案内やチラシ作成ができるようにします。	b：取組 実績把握	やさしい日本語研修	1	
				多文化共生課	イベント等の企画や通訳・翻訳業務を支援します。	b：取組 実績把握			

■伊賀市多文化共生推進プラン 第1期（2023-2026） 成果指標実績表

展開方向1 だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	伊賀市に住んでとてもよかったと感じている外国人の割合	現状値 39%	目標値 実績値 達成率	41% 41% 100%	43%	44%	目標値 45%
	外国人防災リーダー研修受講者 累計人数	現状値 14人	目標値 実績値 達成率	30人 31人 103%	35人	35人	目標値 35人

展開方向2 教育・子育てしやすい地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	とても子育てしやすいと感じる人の割合	現状値 39%	目標値 実績値 達成率	43% 41% 95%	47%	51%	目標値 55%
	高等学校への進学率	参考値 95% (2021)	目標値 実績値 達成率	97% 100% 103%	98%	99%	目標値 100%

※2022 高等学校への進学率(37/38) 97.36%

展開方向3 国籍を越えた交流による地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	日本人との交流がある外国人の割合	現状値 44%	目標値 実績値 達成率	46% 40% 87%	47%	48%	目標値 50%
	「やさしい日本語」の研修受講者 累計人数	現状値 35人	目標値 実績値 達成率	75人 192人 256%	115人	155人	目標値 180人

展開方向4 外国人住民も活躍する地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	外国人住民の審議会等委員 延べ人数	現状値 5人	目標値 実績値 達成率	6 8 133%	7	8	目標値 8人
	差別を受けたことがある人の割合	現状値 21%	目標値 実績値 達成率	15% 18% 83%	10%	5%	目標値 0%